

事務事業評価シート

(H.30)No.	1070-1	(H.29)No.	1070-1
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	医療体制推進費		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	永岡 一郎	

会計区分	事業コード	250502
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	保健衛生総務費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費	医療体制推進費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
	施策	3	地域医療
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
夜間・休日の一次および二次救急患者の受入れ体制を確保するとともに、救急医療の適正受診を促進し、地域で安心できる医療体制の整備を図る。
事業内容
時間外の一次救急医療の確保に向け、市応急診療所への医師派遣を医師会にお願いしている。また、小児科医以外の医師が応急診療所で診療に従事するため、小児救急医療医師研修も実施。歯科の一次救急患者受入れは、歯科医師会へ年末年始の在宅歯科診療をお願いしている。また、かかりつけ医をもつことを啓発し、急病の際に適切な医療機関の受診案内を行う救急医療情報システムの活用も啓発している。なお、今年度は、奈良医大脳神経外科市民公開講座を実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	○年末年始在宅歯科応急診療委託 280,000円 ○一次救急医療体制事業委託 3,015,000円 ○救急医療情報システム運営事業 774,460円 ○その他 ・食糧費 4,920円 (会議開催お茶代)	○年末年始在宅歯科応急診療委託 280,000円 ○一次救急医療体制事業委託 3,015,000円 ○救急医療情報システム運営事業 827,000円 ○市民公開講座 ・消耗品費 7,000円 ・印刷製本費 34,000円 ○その他 ・食糧費 7,000円	平成30年度と同様に実施予定	平成30年度と同様に実施予定	平成30年度と同様に実施予定

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		4,075千円		4,170千円	4,170千円	4,170千円	4,170千円
内訳(千円)							
国・県支出金		273		140	140	140	140
地方債							
その他(諸収入)		303		315	315	315	315
一般財源	0	3,499	0	3,715	3,715	3,715	3,715
人工数							
職員		0.43人		0.38人	0.38人	0.38人	0.38人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	3,182千円	0千円	2,812千円	2,812千円	2,812千円	2,812千円
①+②総事業費	0千円	7,257千円	0千円	6,982千円	6,982千円	6,982千円	6,982千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
休日及び夜間の時間外一次救急の受入体制の維持・充実や、かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師の役割及び適切な医療機関受診など、3師会の協力を得ながら、市民への啓発を行う必要がある。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
時間外の一次救急・二次救急のすみ分けや、早期に適切な医療機関受診等の啓発を行いながら、医療体制の充実に向けて、引き続き取り組んでいく必要がある。

6. 事務事業の取組に関する市の計画